

新型コロナウイルス対策を考慮した試合進行について

千葉市少年軟式野球協会審判部

- ★体温チェックを各自実施する。
- ★球場出入りの際はマスクを着用する。
- ★球場出入り口にアルコール消毒剤がある場合は手指の消毒を実施する。

1. 試合前のメンバー表交換について

- ① ネット裏でなくホームベース付近の広いところで行う。
- ② 参加者は両チームの監督と主将・球責・球審とし、濃密状態を避け適当な距離をとる事。
- ③ 両チーム監督に、選手・コーチが健康であることを確認する。
- ④ 選手等のハイタッチ・グータッチは避ける様確認する。
- ⑤ 先攻後攻を決める際は、握手はしないでじゃんけんのみとする。

2. 試合開始前の審判ミーティングについて

- ① 濃密状態を避け適当な距離をとり、簡潔に済ませる。

3. 試合開始前の挨拶について

- ① 両チーム選手がホームベースを挟んでの集合方式はとらない。
- ② 試合開始の挨拶は、指導者・選手は自ベンチ前に、審判員はネット前に整列し球審の合図で行う。
- ③ 挨拶終了後は、通常通り守備側チームをグラウンド内に入れ準備投球等を行う。
- ④ 塁審は、守備側チームと同じタイミングで各塁へ移動し定位置で待機するが守備側の選手と接触しないように注意する。

4. 試合中について

- ① 球審はマスク（又はシールド板）着用でジャッジ&コールする。
（攻守交代時にはマスクを外すなどして熱中症防止に努める）
- ② 塁審はマスク着用無しとするが、マスク着用が必要な時に即着用できる様所持する。
- ③ 選手等のハイタッチ・グータッチは避ける様指導する。
- ④ 審判員も指導者・選手に直接接触しないようにする。
- ⑤ 監督からの選手交代コールやジャッジに対する確認時は適当な間隔を保って受けるようにする。
- ⑥ 審判員4人が集まって協議する時は、審判員間の濃密状態を避け短時間で済ませる。
- ⑦ 試合中の審判員の給水は、自分用のペットボトルを準備し自己解決とする。
- ⑧ 気温が高い時は、試合進行状況により給水タイムを設ける。

5. 試合終了後の挨拶について

- ① ホームベースを挟んでの集合方式とせず、両チームは自ベンチ前に、審判員はホームベース後方に整列し、球審の合図で挨拶する。
- ② 挨拶終了後のエールの交換及びチーム間の挨拶は行わない。

6. 試合終了後の審判ミーティングについて

- ① 濃密状態を避け適当な距離をとり、長くならないように実施する。